

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)木津川台1丁目賃貸アパート新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

横に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質								2.9	
Q1 室内環境			0.40					3.0	
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.1	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能			-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音			-		-				
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00			3.1	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50				
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63				
2 外皮性能		3.0	0.38	4.0	0.38				
3 ゾーン別制御性			-		-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0	
3.1 昼光利用		3.0	0.40	3.0	0.50				
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50				
2 方位別開口			-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		3.0	0.40	3.0	0.50				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.20	-	-				
3.4 照明制御		-	-	-	-				
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0	
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63				
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理			-		-				
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
Q2 居住性・快適性			0.30					2.8	
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00			2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00				
3 パリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		3.0	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
G3 敷外環境(敷地内)		3.0	0.30		-	2.8
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1 建築物の性能		4.0	0.40		-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		等級4を満たす		4.0	0.20	4.0
2 自然エネルギー利用				2.0	0.10	2.0
3 設備システムの高効率化		BEI(BEim) = 0.79		5.0	0.50	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
集合住宅の評価				3.0	1.00	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	
LR2 資源・エネルギー		3.0	0.30		-	2.7
1 水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1 消火剤						
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷外環境		4.0	0.30		-	3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に考慮		4.0	0.33	4.0
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
1 覆外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	